

(別表第1の4)

グループホーム微笑の家なかむら

## 目標達成計画

作成日：平成 29 年 11 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	9be	利用者一人ひとりの思い、意向を大切にした支援	利用者全員に対し、傾聴に努めその人その人に応じた提供の仕方を工夫して、その人のペースで自己決定しやすいような雰囲気づくりや声かけをし、生き活きた言葉や笑顔が増えるように支援していきます。	毎日着替えをする衣服を選ぶ時、利用者様とお話をしながら、自分が選ぶ事が出来るように場面を設定する。時間のある夕食後等に翌日の用意をする。また散歩のコースやおやつ作り、レクリエーションなども利用者様の意見を聞き楽しく全員が参加出来るように支援していきます。	4 か月	
2	37g	本人を共に支え合う家族との関係づくりと支援	利用者様の健康状態や生活状況又担当職員の交代などは、毎月発行している日常生活報告書で報告しているが、職員の状況は全ご家族には報告出来てないので今後面会のないご家族に対しても連絡を密にとる様に支援していきます。	毎月発行している広報誌に職員の状況をお知らせするスペースを作り情報提供をしていく。また面会に来られたご家族が、職員の名前が解らない事のないように名札等の検討もしていきます。	2 か月	
3	43c	虐待の防止	毎月の全体会ではテーマを決めて研修をしているが、職員全員が不適切なケアにならない様に、常に理念を念頭に支援に努めて行く事を周知徹底しスキルアップに努めます。	職員同士日々の生活の中で「ちょっと待って」「〇〇してはいけません」を使わない言葉かけを実践し利用者様の思いが叶えられる介護に努める。職員間で気にかかる言葉づかいを注意しあったり、身体的虐待・心理的虐待になってないかを常に考えた言動を心がけ全体会で一カ月の反省をします。	4 か月	
4	50e	災害への備え	防火避難訓練や災害避難訓練等地域への案内方法を検討し、地域住民が多く参加していただける取り組みに努めます。	現実に起こりうる想定で、消防署などに相談し協力を得ながら、地域住民が関心を持って参加出来る内容を取り入れて行きます。また地域の防災訓練等にも施設の職員も参加をして顔見知りになり、人間関係を築いていきます。	4 か月	
5					か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。